ALMADO

2027年 3月期

第2四半期決算説明資料

2026年11月

株式会社アルマード

エグゼクティブサマリー

ALMADO

2Q全体業績

1. 2Q累計の全体業績は前年同期比で**増収増益**の着地

- 売上規模拡大と販管費の抑制を両立できたで、営業利益は前年同期比で大幅に改善
- 利益の改善に伴い自己資本比率が上昇し、財務基盤の改善が継続中

2Q部門別業績

2. 2Q累計の部門別業績はいずれの部門も**前年実績を上回る**

- 直販は定期便売上が顧客獲得コストを抑制しながら引き続き拡大、外部モール販売も好調を維持
- 外販は配荷店舗数を大きく拡大、メンズスキンケア商材の店頭展開も開始し、一般流通事業の成長が継続
- TV通販はQVCオンエアは前期と同水準、新タレントのVTR出演やTikTokライブ等の新たな取組みを開始

今期展望

3. 通期業績予想は変更なし、**配当は引き続き検討中**

- 売上、利益とも通期計画に変更なし
- 財務健全性の改善を継続的に進めながら、研究開発の強化も実行予定
- 配当予想は今後の企業価値向上施策とのバランスを踏まえて未定とするが、予想可能となった時点で公表予定

エグゼクティブサマリー

ALMADO

2Q全体業績

2Q部門別業績

今期展望

1. 2Q累計の全体業績は前年同期比で**増収増益**の着地

- 売上規模拡大と販管費の抑制を両立できたで、営業利益は前年同期比で大幅に改善
- 利益の改善に伴い自己資本比率が上昇し、財務基盤の改善が継続中

2. 2Q累計の部門別業績はいずれの部門も**前年実績を上回る**

- 直販は定期便売上が顧客獲得コストを抑制しながら引き続き拡大、外部モール販売も好調を維持
- 外販は配荷店舗数を大きく拡大、メンズスキンケア商材の店頭展開も開始し、一般流通事業の成長が継続
- TV通販はQVCオンエアは前期と同水準、新タレントのVTR出演やTikTokライブ等の新たな取組みを開始

3. 通期業績予想は変更なし、**配当は引き続き検討中**

- 売上、利益とも通期計画に変更なし
- 財務健全性の改善を継続的に進めながら、研究開発の強化も実行予定
- 配当予想は今後の企業価値向上施策とのバランスを踏まえて未定とするが、予想可能となった時点で公表予定

2Q全体業績　：　業績サマリー

ALMADO

- 2Qまでの累計業績は前年同期比で**増収増益**の着地

(単位:百万円)

項目	2Q		前年同期比		1Q-2Q累計		前年同期比	
	前期	当期	差異	増減率	前期	当期	差異	増減率
売上高	2,744	3,143	398	114.5%	5,261	6,645	1,383	126.3%
売上総利益	2,074	2,459	384	118.5%	3,938	4,918	980	124.9%
販管費	1,886	2,234	347	118.4%	4,630	4,953	323	107.0%
営業利益	188	225	36	119.5%	-692	-35	656	-
当期利益（税後）	126	148	21	117.3%	-478	-41	436	-

(単位:円)

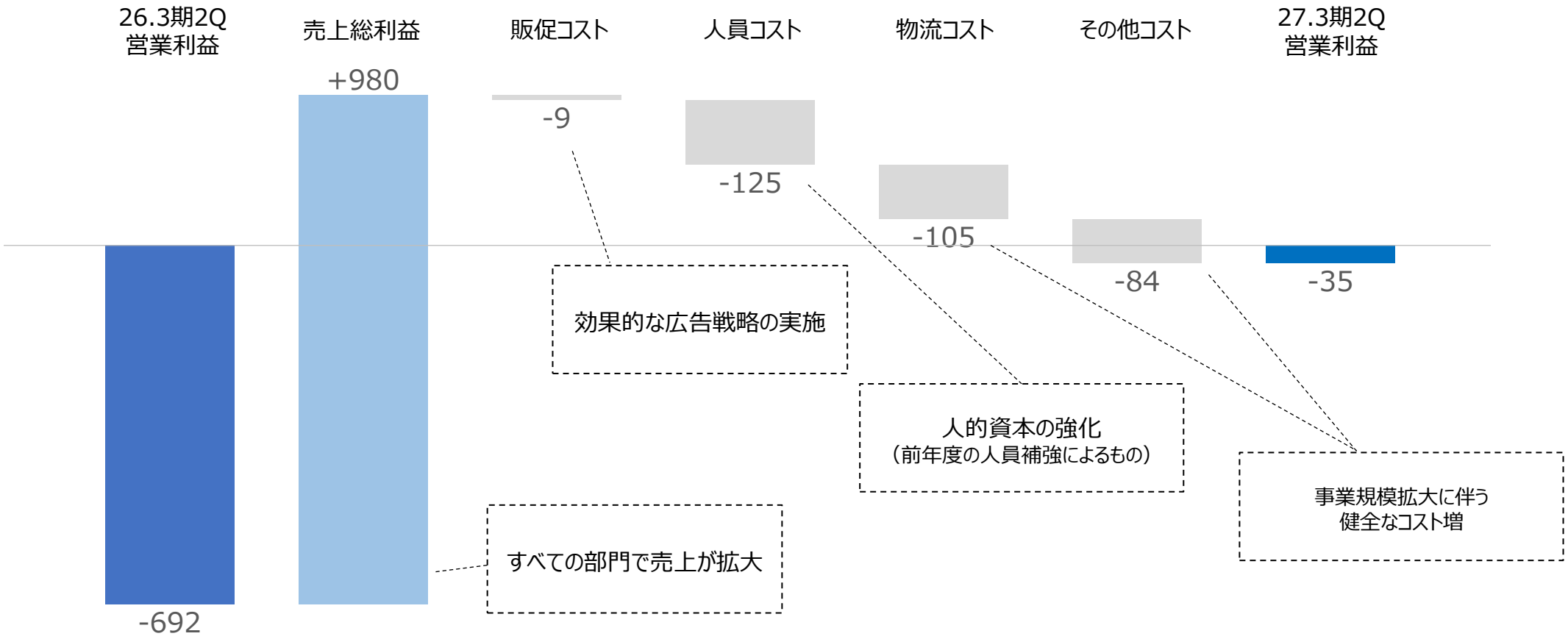
EPS	13.7	16.0	2.3	116.8%	-51.8	-4.5	47.3	-

2Q全体業績　：　営業利益増減

- **売上規模拡大と販促コスト抑制を両立させた**ことで、営業利益が大幅に改善

営業利益増減要因

（単位：百万円）



2Q全体業績　：　BS概況

ALMADO

- 利益の改善に伴い自己資本比率が上昇し、**財務基盤の改善が継続中**

（単位：百万円）

	2026年3月期 2Q	2027年3月期 2Q	差異	増減率
流動資産	4,479	4,966	487	110.9%
現金及び預金	1,280	1,392	111	108.7%
固定資産	488	330	-158	67.6%
総資産	4,967	5,296	328	106.6%
流動負債	4,081	3,796	-285	93.0%
固定負債	64	76	12	119.2%
負債合計	4,145	3,872	-273	93.4%
純資産（株主資本）	822	1,424	602	173.2%
流動比率	109.7%	130.8%	+21.1 pt	-
自己資本比率	16.5%	26.9%	+10.3 pt	-

エグゼクティブサマリー

ALMADO

2Q全体業績

2Q部門別業績

今期展望

1. 2Q累計の全体業績は前年同期比で増収増益の着地

- 売上規模拡大と販管費の抑制を両立できたで、営業利益は前年同期比で大幅に改善
- 利益の改善に伴い自己資本比率が上昇し、財務基盤の改善が継続中

2. 2Q累計の部門別業績はいずれの部門も前年実績を上回る

- 直販は定期便売上が顧客獲得コストを抑制しながら引き続き拡大、外部モール販売も好調を維持
- 外販は配荷店舗数を大きく拡大、メンズスキンケア商材の店頭展開も開始し、一般流通事業の成長が継続
- TV通販はQVCオンエアは前期と同水準、新タレントのVTR出演やTikTokライブ等の新たな取組みを開始

3. 通期業績予想は変更なし、配当は引き続き検討中

- 売上、利益とも通期計画に変更なし
- 財務健全性の改善を継続的に進めながら、研究開発の強化も実行予定
- 配当予想は今後の企業価値向上施策とのバランスを踏まえて未定とするが、予想可能となった時点で公表予定

2Q部門別業績　：　売上概況

ALMADO

- 2Q累計売上は**いずれの部門も前年同期を上回り**、全体では前年同期比126.3%と増収

(単位:百万円)

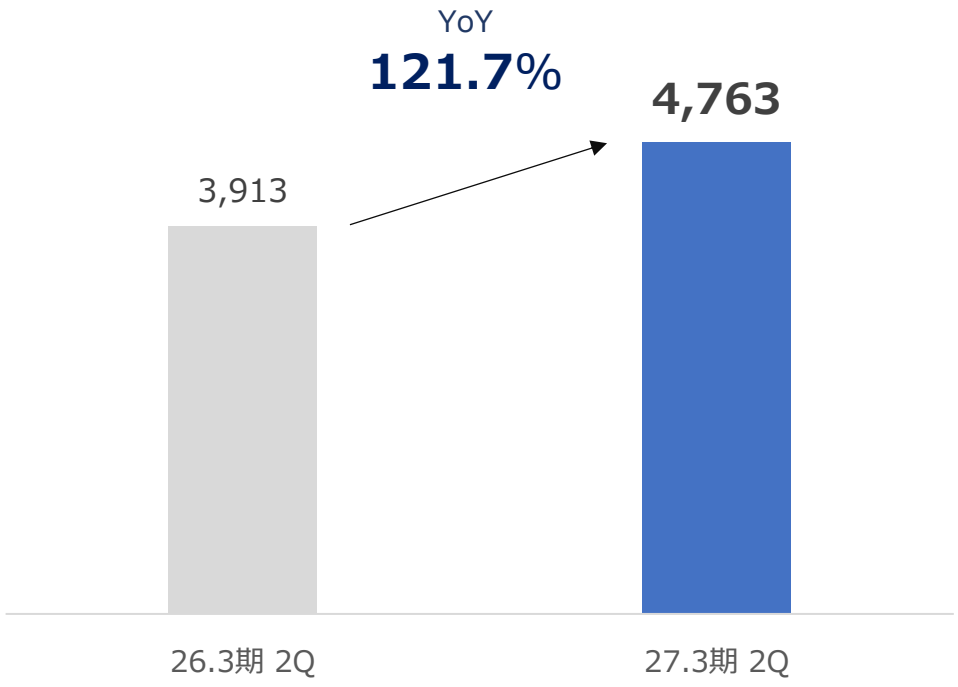
項目	2Q		前年同期比	前年同期比	1Q-2Q累計		前年同期比	
	前期	当期	差異	増減率	前期	当期	差異	増減率
全社売上 (a+b+c)	2,744	3,143	398	114.5%	5,261	6,645	1,383	126.3%
a. 直販　売上	2,035	2,481	446	121.9%	3,913	4,763	850	121.7%
b. 外販　売上	546	535	-10	98.0%	948	1,470	522	155.2%
c. TV通販　売上	163	126	-36	77.5%	400	410	10	102.7%

2Q部門別業績　：　直販部門

- 直販部門は新規獲得好調により**定期会員数が増加**、また**外部モール販売も引き続き好調**

2Q累計売上高（直販）

（単位：百万円）



2Qまでの状況

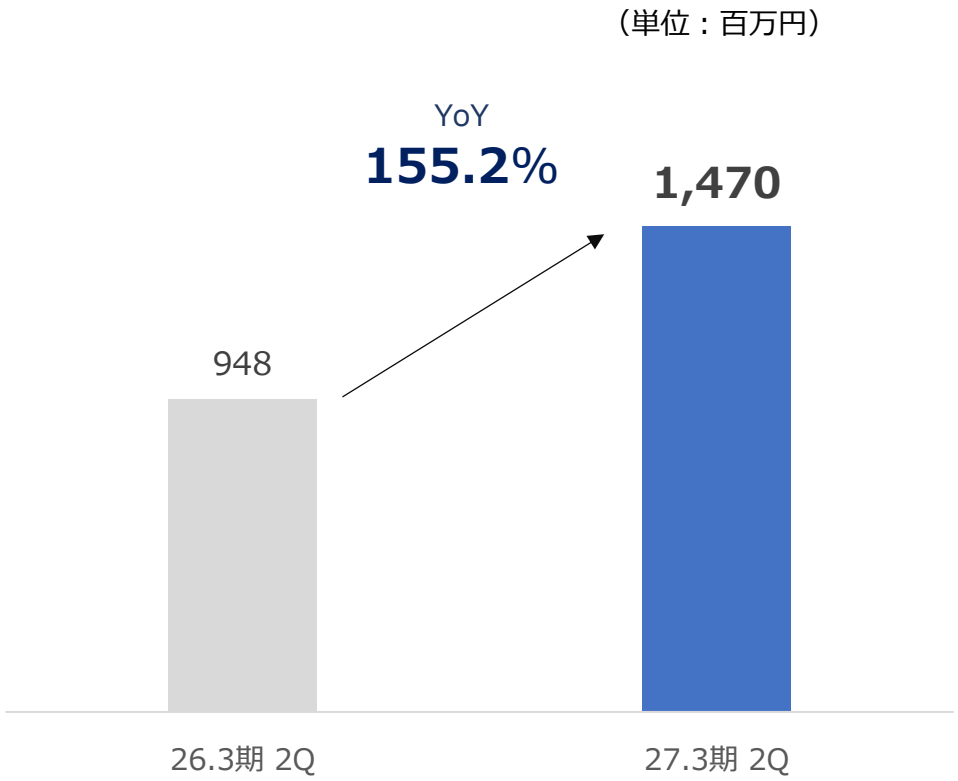
- 新規獲得数は前年同期比113.0%で過去最高
- 定期会員数は前年同期比110.1%で過去最高
- 外部モール販売*は前年同期比143.7%と伸長
- 顧客基盤拡大を実現しながらCPA*は前年同期比92.6%と抑制に成功
- AIの効果的活用と前期の人員拡充が当期に好影響

*外部モール販売：Amazon、楽天市場、Yahoo!ショッピング等での販売
*CPA：一人当たり顧客獲得費用

2Q部門別業績　：　外販部門

- 外販部門は**一般流通事業が大幅に増収**、OEM事業は前年同期並の水準で推移

2Q累計売上高（外販）＊



＊ 売上高（外販）：海外の売上高を含む

2Qまでの状況

【一般流通事業】

- 売上高 933 百万円（前年同期比227.6%）
- 美容商材の配荷店舗数が大幅に拡大
- メンズスキンケアの店頭展開を開始

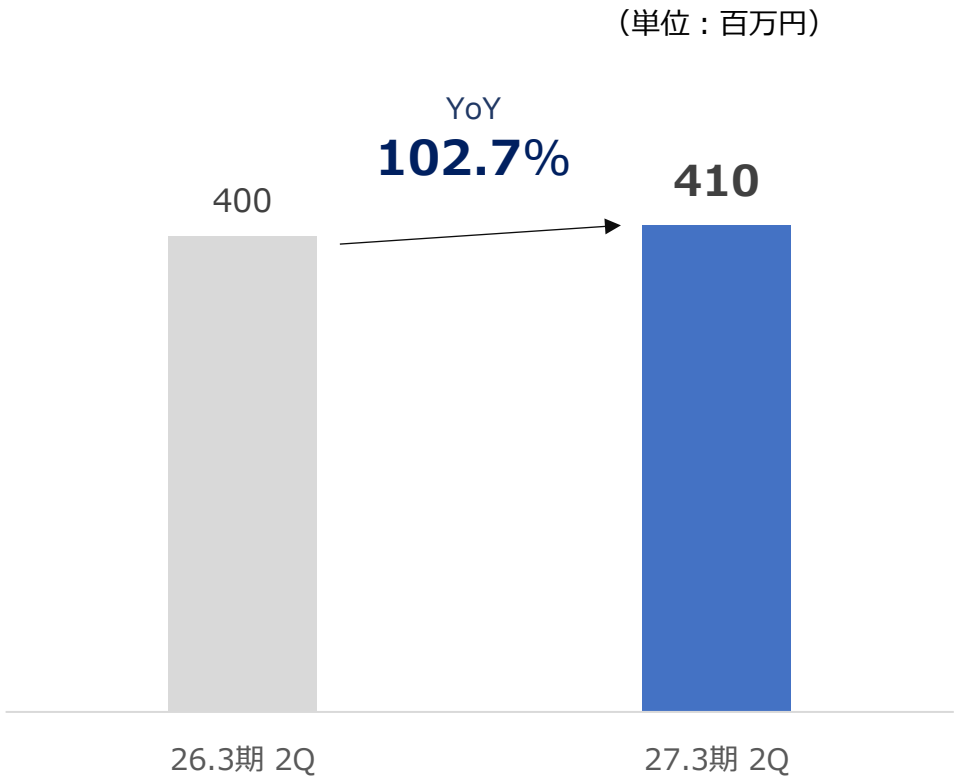
【OEM事業】

- 売上高 537 百万円
- 前年同期と同水準で推移

2Q部門別業績　：　TV通販部門

- TV通販部門はQVCのオンエアは前年同期と同水準、新タレントのVTR出演やTikTokライブ等の新たな取組みを開始

2Q累計売上高（TV通販）



2Qまでの状況

- QVCオンエア結果は前年同期と同水準
- 新タレントのVTR出演開始、美容雑誌へも掲載
- 全国ネット地上波TV通販において、美容液マスカラが好成績を達成
- TikTokライブ販売を開始、初回ライブ売上が目標を上回り、2回目ライブ売上も初回と同水準を達成

エグゼクティブサマリー

ALMADO

2Q全体業績

1. 2Q累計の全体業績は前年同期比で**増収増益**の着地

- 売上規模拡大と販管費の抑制を両立できたで、営業利益は前年同期比で大幅に改善
- 利益の改善に伴い自己資本比率が上昇し、財務基盤の改善が継続中

2Q部門別業績

2. 2Q累計の部門別業績はいずれの部門も**前年実績を上回る**

- 直販は定期便売上が顧客獲得コストを抑制しながら引き続き拡大、外部モール販売も好調を維持
- 外販は配荷店舗数を大きく拡大、メンズスキンケア商材の店頭展開も開始し、一般流通事業の成長が継続
- TV通販はQVCオンエアは前期と同水準、新タレントのVTR出演やTikTokライブ等の新たな取組みを開始

今期展望

3. 通期業績予想は変更なし、**配当は引き続き検討中**

- 売上、利益とも通期計画に変更なし
- 財務健全性の改善を継続的に進めながら、研究開発の強化も実行予定
- 配当予想は今後の企業価値向上施策とのバランスを踏まえて未定とするが、予想可能となった時点で公表予定

今期展望： 業績見通し

ALMADO

- 売上、利益とも**通期計画に変更なし**
- 下期は将来の成長投資を実行するとともに、中東情勢やサイバーリスク等の不確実性への備えを強化したうえで、通期での増益を確保する

(単位:百万円)

項目	前期		当期		増減	
	上期実績	通期実績	上期実績	通期計画	上期	通期
売上高	5,261	10,118	6,645	12,500	1,383	2,381
営業利益	-692	685	-35	800	656	114
経常利益	-688	689	-49	780	638	90
当期純利益（税引後）	-478	518	-41	540	436	21

(単位:円)

EPS	-51.8	56.1	-4.5	58.2	47.3	2.1

今期展望： 研究開発の強化

- これまで幅広い美容・健康領域における卵殻膜の機能を解明してきた
- 今後は解明した作用機序を基盤として、**臨床研究への橋渡しも視野**に研究を深化させるとともに、**研究成果の見える化・発信を強化**していく

作用機序の解明

機能性の“根拠”を探る

II

卵殻膜が生体に作用するメカニズムを細胞・分子レベルで解明

主な研究領域

- 皮膚再生
- 免疫機構
- カケクシア、サルコペニア
- 骨代謝
- 組織の線維化

卵殻膜の機能性に関する研究（一例）



今後の強化ポイント

臨床研究への橋渡し

研究成果を次の段階へ

（作用機序の解明 ＋ 臨床研究の蓄積）

社会にとってより有用な商品を創造していく

今期展望： 株主還元

- 上期において成長投資の推進と財務健全性の向上が進み、持続的な企業価値向上に向けた基盤が一層強化
- 配当金額は継続検討中であり現時点で**未定**とするが、予想可能となった段階で速やかに公表する

資本配分方針

持続的な企業価値向上と安定的な株主還元の両立

	当期の資本政策（2026年5月資料に掲載）	2Qまでの状況
① 成長投資	• 差別化により飛躍的な成長を目指すべく、**研究開発投資を強化**する • **人的資本の強化**を通じて、優秀な人材の確保・定着と従業員の意欲向上を図り、中長期的な成長力および収益力を支える事業基盤を強化する	**進展** 研究深化のための投資を今期中に計画（P14）
② 財務健全性	• 安定的な事業運営を支えるため、財務体質の健全性を維持することを重視 • 外部環境の変動に対するリスク耐性を確保しつつ、資本効率を意識した効果的な資本活用を行う	**進展** 財務基盤の改善が継続中（P6）
③ 株主還元	• 配当は株主還元の重要な手段の一つ • 配当予想は**現時点で未定**、成長投資および財務健全性とのバランスを踏まえて決定する	**継続検討** 上述の企業価値向上施策とのバランスを検討中

Appendix

損益計算書

ALMADO

（単位：百万円）

	2Q		前年同期比		1Q-2Q累計		前年同期比	
	前期	当期	差異	増減率	前期	当期	差異	増減率
売上高	2,744	3,143	398	115%	5,261	6,645	1,383	126%
売上原価	670	684	14	102%	1,323	1,727	403	130%
売上総利益	2,074	2,459	384	119%	3,938	4,918	980	125%
販売費及び一般管理費	1,886	2,234	347	118%	4,630	4,953	323	107%
人件費	208	253	45	122%	412	537	125	130%
販促費	1,196	1,422	226	119%	3,255	3,265	9	100%
物流費	223	274	50	123%	460	565	105	123%
営業利益	188	225	36	120%	-692	-35	656	-
経常利益	182	217	34	119%	-688	-49	638	-
当期純利益	126	148	21	117%	-478	-41	436	-
1株当たり当期純利益（円）	13.7	16.0	2.3	117%	-51.8	-4.5	47.3	-

免責事項

本資料は、当社に関する情報提供を目的としたものであり、国内外を問わず、いかなる有価証券、金融商品または取引に関する募集、投資の勧誘または売買の推奨を目的としたものではありません。本資料は、金融商品取引法またはその他の法令もしくは諸規則に基づく開示書類ではありません。投資のご検討にあたっては、投資家の皆様ご自身の判断で行うようにお願いいたします。

本資料には、当社に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記載が含まれています。これらは、当社が本資料作成時点において入手した情報に基づく、当該時点における予測等を基礎として作成されています。これらの記載は、一定の前提および仮定に基づいており、また、当社の経営陣の判断または主観的な予想を含むものであり、国内外の経済状況の変化、市場環境の変化、社会情勢の変化、他社の動向等の様々なリスクおよび不確実性により、将来において不正確であることが判明しまたは将来において実現しないことがあります。したがって、当社の実際の業績、経営成績、財政状態等については、当社の予想と異なる結果となる可能性があります。

本資料への掲載にあたっては万全を期しておりますが、その内容の正確性、完全性および確実性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

世界の人々の人生に**健康と美しさ**をもたらす
卵殻膜と**バイオテクノロジー**で

ALMADO